

卒業式



3月7日(木)に卒業式が行われました。良い式だったと思います。今年の3年生は、現在の陸上競技部の土台をさらに強くしてくれたと言えます。チームの仲も良く、ともに支え合える自慢の3年生たちでした。目標を高く掲げて、それに向けて努力する姿、それでもなお目標に届かない悔しさ、目標を達成し、ともに涙を流す喜び、そして部活動を引退してからも各々の目標に向けて取り組む姿勢。後輩によき背中を見せ続けてくれました。ありがとございました。これから先、楽しいこと、悩むこと、様々なことが起こりうると思います。そんな時、ふと立ち止まって千城台で歩んだ道を振り返って見てください。きっと確かに刻んだ足跡が君たちの背中を押ししてくれると思います。これからも頑張れ!

昔から陸上競技の雑誌と言えば、「陸上競技マガジン」と「月刊陸上競技」の2種。それぞれ各地方の結果や練習方法、強い選手の記事など、陸上競技に関する多様な情報をゲットすることができます。私も中・高校時代は読みあさり、千葉県強いな～大阪強いな～兵庫強いな～など、自分だったら…と想いを馳せたこともあります。幅広い視野をもつためにこんな雑誌を手にとって立ち読みしてみても良いかもしれません。これからの時期は日本選手権や高校総体特集など、とっても面白い記事がたくさんあります。



昨年度より図書室に入れてもらいました。バックナンバーも部でもらっています。学校にも協力してもらっているわけなので、ぜひ活用してみましょ。Twitterでは得られない情報もあると思いますよ。

入学許可候補者説明会を終えて

「人付き合いがうまいということは、人を許せるということだ」

by ロバート・フロスト

3月14日(木)に入学許可候補者説明会が行われました。陸上競技部では、昇降口から小体育館までの誘導や会場設営等の手伝いを行いました。オレンジのウインドブレーカーが目立っていたのではないのでしょうか。

この説明会を経て、いよいよ新入生を迎える時が迫っていることを感じます。さて、この時期に毎年相談されることとして、後輩とどのように接すれば良いのかということ。やはり入部して1～2年経ってしますと、自分たちができていることが増えて、新入生の粗が気になったり、1～2年前の自分たちを美化して、自分たちはできていたのに・・・とってしまうことが多々あります。そんな時、こんな言葉を思い浮かべて見ましょ。「人付き合いがうまいということは、人を許せるということだ」アメリカの詩人の言葉です。私も同じですが、なぜか人間は自分の中でルールがあり、そのルールに反する人を許せなくなり、イライラしてしまいます。

新1年生に対しても、きっとそんな自分たちの学年のルールと異なる様子に距離を感じてしまうかもしれません。しかし、その違いを理解し、許し合いながら、必要なことをしっかりと教えていく。その「許す」ということが、現代で必要とされる感情コントロール、社会性の1つのように思います。この言葉、少し考えてみてください。

3月23日(土) 順天堂大学記録会!

今のところ、雨と曇りの攻防。。。ここ最近、卒業式もそうでしたが、大会等のイベントは雨が多いです。大会の時は晴れて欲しいという気持ちは当然ですが、仕方ありません。総体の時も雨が降るかもしれない。そのシミュレーションと思い、雨でも対応できる準備をいまから進めましょ。総体まであと一ヶ月。もうすぐです!!